

（午前9時30分 開議）

○議長（中西峰雄君）おはようございます。
ただ今の出席議員数は23人で定足数に達して
しております。

○議長（中西峰雄君）これより本日の会議を
開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中西峰雄君）これより日程に入り、
日程第1 会議録署名議員の指名 を行いま
す。

本日の会議録署名議員は、会議規則第81条
の規定により、議長において2番 阪本君、
7番 中谷和史君の2人を指名いたします。

日程第2 一般質問

○議長（中西峰雄君）日程第2 一般質問 を
行います。

順番8、23番 井上君。

〔23番（井上勝彦君）登壇〕

○23番（井上勝彦君）皆さん、おはようござ
います。2日目のトップバッターということ
で、議長のお許しを得ましたので、23番 井
上勝彦、一般質問をさせていただきます。

きょうのニュースで、金メダル10個、柔道
でというようなニュースを聞きまして、明る
い夢と希望を与えていただいたことに対しま
して、非常にうれしく皆さんとともに喜びた
いと思います。

きょうは、都市計画道路の伏原田原線（高
野口町応其地内）についてということで、質
問をさせていただきたいと思います。

実は、市長もご存じのとおり、都市計画道

路は、この高野口インターから24号線へ出ま
す。出まして、24号線を抜けて、そして大野
から向島へ回るんですけども、焼却場のとこ
ろを通過して、そして焼却場のところからず
っとこども園のところを通過して小田へ入っ
て、高野口の警察、派出所があるんですけど、
そこをずっと通りまして伏原へ入ってくる。
それから田原へ抜けるという、高野口町にと
つての循環基幹道路として計画をされて、ほ
ぼ完成に近いところまで来ているわけなん
ですけども、それが高野口にとっては旧信太
村と高野口町と旧応其村、この三つの高野
口町にとっては合併時からずっと一つの循
環幹線道路として、長年にわたって計画を
されてきた道路であります。

これは重要な、今現在では橋本市にとつ
ては西部の地区の、西部地区というのか、
高野口地区というのか、そういう道路にな
っておるんですけども、事情が非常に変わ
ってきて、学文路の山に登ってみますと、
夜、橋本市全体の中で、昔は応其平野とい
って、昔は引の池の応其上人という方が畿
内を開きになりまして、桑畑やったところ
が現在は非常に明々と夜になってもそうい
う青年の集まりとかそういう一つのまちが
形成されてきたというような状態で、橋本
市内を見ると真っ暗いんですけど、学文
路の上へ上がりますと、応其地区が非常
に明々としとるんです。明々としてます。
なるほどなど。50年たてばこれだけ変
わるもんやなど。

人の寄りも非常に多くなってきました。
というのは、地元の商店街もあるん
ですけども、ほかから入ってきた大手の
商売人も入ってきて、いろいろと共存
共栄というようなことで、

まちの活性につながっておる場所なんですけれども、東西南北あるんですけども、南北につながる道路が非常に高野口にとっても狭い道路が、どこを走っても皆狭いんですよ。

今言われている伏原田原線というのが、唯一の複線の広い道路でありまして、平成13年に地対財特法のもと最終の事業で、国道24号まではついておったんです。オークワのところまで。それから応其の旧大和街道までの800mを延長して、国の直轄事業で22億円をかけて、要するにJRの上を越すという大変な作業でありましたけれども、直轄事業で旧大和街道まで800m、これは22億円かかっていますけれども、早くできました。

当時は、94%が国でやられて、町が6%しかかかっていない。1億数千万円で22億円の仕事ができた。こういう道路でありまして、橋本市にとっても重要な場所であると。これから、どんどんと上には低い山もありまして、いろいろと企業誘致等々もやりやすいというんですか。土地もあいているところもあるし、最近ではかなり商売人がたくさん寄ってくるということで、繁盛している。

橋本市にとっては、重要な場所であるというところから、きょうはそういう意味で、京奈和自動車道ができて、側道もできました。そんな中で、側道から山田地区とか、それから橋本市方面からでもお昼は買い物に来るお客さんがたくさん増えておりまして、そしてまた大阪へ通勤するのにつけては、側道を使って通勤を田園都市駅まで、そういう通勤の道路にも使っておるし、非常に交通量も増えてまいったわけでございます。

そういうところで、現在24号線より京奈和側道までの間の、今現在一番よく使っておるのは、一つ手前のレストランガストという前の信号から側道まではもう完成しておるんですけども、これは市道24号線と、ちょっと

ややこしいんですけども、国道24号と市道24号線と名前は同じなんですけれども、そこは完成しております。

ところが、この道路は、もともと周辺の応其地区の方々の生活道路ということで、あまり広くございません。子どもたちの通学路にもなっておりまして、非常に車の通行台数が増えてきまして、また通学路でもありますし、非常に危険な状態であるということで、この二、三カ月前から車が非常に飛ばして坂になっているところ、非常に量も多いし、非常に飛ばして事故が起きたら大変なことになるということで、3月ほど前ですか。建設課のほうで徐行の看板を10本、5本ずつ片方を5本と片方を5本と10本、ずっと距離をおいて立てていただいているんですけども、非常に危ないということで、地域周辺の人の声が非常に多いわけなんです。

そういうところから、この伏原田原線につきましては、年次計画でやっていただいておりますけれども、本題に入りたいと思いますが、この道路につきましては、あと残り側道までの間が全長が350mほどあるんかいな。とりあえず建設部長にお聞きしますが、これが最近計画をしておったものよりも変更になっている部分もあるということでありまして、それのどのように変更されたのかということと、それから年次計画なんですけれども、早くなっているのか遅くなっているのかということと、この道路を完成するにあたって、平成17年12月でしたか。この道路が完成しましたら、周辺の4区の要するに消防器具庫が応其地区にあるんですけども、そこがちょうど交差点の角になりまして、それを含めた防災センターをこちらへ移してほしいということで、高野口町時代に満場一致で議決されておる案件もあるわけなんです。

3番目につきましては、そういう道路が完成するまで建設できませんけれども、土地の確保、これが可能かどうかというのをそれもお聞きできたら、周辺の人が非常に期待をしておるわけなので、そういうこともお聞きをいたしまして、3点を重点的に審議をさせていただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いをいたします。

壇上での質問はこれで終わります。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君の一般質問に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（樽井豪男君）登壇〕

○建設部長（樽井豪男君）都市計画道路伏原田原線のご質問にお答えします。

都市計画道路伏原田原線は、旧高野口町において、昭和61年10月に都市計画決定を行い、その概要は、起点を国道24号伏原交差点、終点を市道2号線高野口中学校通用門付近で、延長2,010m、幅員は12mとなっています。

そのうち、国道24号から旧大和街道の市道高野口4号線までの780m間は、平成13年度に整備が完了し、現在供用開始をしております。

市道高野口4号線から京奈和自動車道側道間の延長340mにつきましては、事業期間を平成12年度から平成26年度、総事業費11億3,000万円とし、事業認可を受けて現在施工中です。

進捗状況につきましては、平成21年度末におきまして、率にいたしまして41%、4億6,500万円を実施しております。

当該路線は、議員のご指摘のとおり周辺自治会からも早期完成を強く要望されておりますので、市の財政状況、また国の交付金の割り当て状況にもよりますが、早期完成に努めてまいります。

また、工法的な見直しにつきましては、引の池周辺におきまして、当初計画段階で引の池土地改良区との協議により、池に影響の少

ない工法とすることで、橋梁工としていました。

その後、昨今工事費の縮減が言われており、担当課でも工事費の縮減について検討し、引の池土地改良区との協議の結果、「近年耕作地が減少し、池の水にも余裕があるので、金のかかる橋梁よりも盛土工法で工事を行ってもよい」との回答をいただきましたので、今回盛土工法（補強土壁工）に変更した結果、大幅に工事費が縮減されました。

これに基づき、本年度は盛土工の基礎工として、昨年度繰越金1,600万円を含めた約8,500万円を計上しております。

次年度計画では、平成23年度はテールアルメ本体工事並びに余水吐水路等を施工する計画で、事業費2億1,000万円を予定しております。

平成24年度は、雨天桶川橋梁、道路排水工等の付帯工事を施工する計画で、事業費9,000万円、平成25年度は舗装工事等の施工を計画しており、事業費は4,600万円を予定しております。

計画どおり事業が進みますと、完成は平成25年度末になります。

次に、自主防災センターについてですが、道路としての都市計画決定区域内には建築物は建てることはできません。

旧高野口において、引の池と道路の都市計画決定区域との間に土地の取得を行っており、この部分で建築は可能と考えております。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君、再質問ありますか。

23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）残り340mですか。総延長の。それで、11億3,000万円ほどのやつが、工法が変わりましたので、約4億円ほど安くなると。安くなるというか、早くなると。工事が早くなると。橋なんかやっとなと、また何年とかがかりますわな。引の池のお話がつい

たということで、非常に喜んでおります。

心配しておったんですが、この土地改良区との話し合いが行われて、一応話がついたということでありますので、25年度までの計画があるわけなんですけれども、先ほど私が言ったように、周辺が非常に変化があると。できれば、たとえ1年でも早く完成するようにすることが、橋本市にとってあまり長引かすよりもできるだけ早く完成をすることによって、危険性というんですか。安全性というんですか。そういうものをなくしていくと。なくなっていくのではないかということも考えられますので、予算の関係もあるだろうと思えますけれども、もうここまで来たんですから、9分9厘まで来ているんですから、これから22年度、23年、24年、25年と4年ほどかかるわけですか。23、4、5、まあ3年余りですね。それぐらいはかかるやろなとは思いますが、できるだけ早く完成をして、周辺の安全というんですか。

それから、この道路が完成しますと、もっとまちの活性が違ってくると思うんですよ。活性が。まちを活性さすということは、きのう皆さん、一般質問の中でもやられておりましたけど、やっぱり道路というのは必要なところは早くやっていくという考えに立たんと、何でもかんでも年を追ってやっていたらええというわけにもいかんと思うんですけど。

その点について、政治的判断も必要やろうと思うんですが、部長のほうで予算の獲得を、交付金をけたさかいまだ延びるよというようなことでなくて、予算の獲得を建設課として必要なときであるので、早く前倒しでもやってほしいというような要望が、やってほしいわけですけど、どうですか。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（樽井豪男君）まず、この都市計画街路につきましては、平成26年度までの事

業認可をもらっております。その中で前倒しをいたしまして、25年度で完成ということで、今現在進んでおります。

なお、まず早くできない理由ということにつきましては、池の中をさわるということと、雨天樋川、まず水の処理、その特に工事でしたら渇水期を利用してしなくてはならないということで、もう期間が限られております。田の水を使わなくなった以降、9月以降とかから3月の終わりから4月にかけて、そういった期間が伴うということで、1年中工事ができないということで、こういった計画で最短で工事をさせていただいても、こういった25年度、たとえ1年でも早くなったということで、努力しております。

だから、この費用につきましては、それに基づきまして補助金等の申請を行い、この25年度で完成をするように間違いなく進めてまいりたいとは思っております。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）工法的に、ちなみに入り口の一見非常に時間をかけて当時私たちも大分お願いにも行ったこともあるんですけども、その家のこちらの池のほうではなくて、肝心の入り口のほうの1軒住まわれているんですよ。1軒か2軒あるでしょう。その話し合いというんですか。工法的に話し合いをだいたい解決済みであるのかどうかということ、そのこのとこ。それを先に言ってください。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（樽井豪男君）一応、旧高野口時代からいろんな諸条件等がありまして、それを整理しまして、そういう地権者にちゃんと了解を得た中で、もう対応も済みということでございます。

だから、この年次計画の中ですべて工事をかけていきます。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）それじゃ、池がかりのほうにつきましても、旧応其上人の碑というんですか。大きな記念碑があるわけなんですけども、そういったものについても一応道路が完成すると同時に、そういった碑の、どういうふうになるかわかりませんが、あそこは皆さんご存じやと思いますけども、高野口の産業文化会館にレプリカで置いてあります、三彩つぼがあので発掘されて。一応橋本市にとっては文化的なそういう発祥地というんですか、になっているんですよ。

今、京都の美術館の入り口にありますが、橋本市に技術があったらそれを持って返ってきたんですけども、なかなか技術がないので持って帰ってこれない。あそこで発掘して国宝になっておるんですわ。それが、旧高野口で大分とめにはいってんけど、置くところがうて、京都の美術館にあるわけです。

そういう文化の地でもありますので、その碑についても、どういう形で文化的なそういうものについても、整備がついでに、ついでにということはないけど、ついでと言うたら怒られるわ。一緒に道路と完成すると同時に、それも残していけるような方法を整備できたらと思うんですけど、その辺は建設課のほうでは答弁できませんかな。文化財課と。どうなんやろ。それも含めていっぺん言うことの、部長、どうですか。

○議長（中西峰雄君）企画部長。

〔企画部長（吉田長司君）登壇〕

○企画部長（吉田長司君）この工事とは直接ということ、直接じゃないんですけども、引の池の水利組合のほうで、引の池の応其上人の顕彰ということで、上池の堤付近で記念碑を立ててございまして、顕彰の行事を行っているようでございます。

ということで、引の池の水利組合は今後もそれを続けていきたい、それから拡大してい

きたいということで、その道をできた暁には、その引の池周辺を公園的なもので整備していきたいというような考えがございまして、その付近にちょうど開発公社の用地もあるわけでございますけれども、その用地についても分けていただきたいという申し出がございませぬ。それにつきましては、開発公社の中、開発公社は今後3年、数年程度で解散していく計画の中で、不要な土地については処分していく考えの中で、そういう方向で事務を進めている状況でございます。

事業につきましては、あくまでも顕彰事業、それから公園の事業につきましては、引の池の水利組合が機械的にやっていくということをお願いしているところでございます。

そういうことで、土地についてはそういう形でしております。

あと、事業の関連でもその土を使うということもいろいろ今現在、土が必要ですので検討しているような状況でございます。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）質問が横へちょっとそれましたけれども、元へ戻します。

それについては、土とり場というんですか、近辺の土とり場関係もありまして、ちょっと横へそれましたんやけども、そういうことを含めてそれはそれで当局と話し合っていたらいいんですけども、もう一点、最後に建設部長にお尋ねしますけども、25年度については、この計画では、一応舗装4,600万円か、これだけが25年度ということで最終年度になつとるんですけども、24年度に完成したら25年度の4,600万円の舗装というのが、全長完成せなあかんのやろけども、24年度に完成したら、もう舗装はそない1年もかけてせんでもいけるようにも思うんやけども、そこらの短縮期間というんですか。できるだけ早く

安全ということになれば、もうここまで来てんのやから、4,600万円の舗装分だけちょっと早い目にできたら、24年度にできたら、うまいこといったら、工法的にいかんのかどうか僕は専門じゃないから建築のことはわかりませんが、25年度は舗装だけという、24年度にしてもらえたらちょっとでも安全に周辺の人が安心するんじゃないかなと。

また、経済的な効果も、またあの辺に道もつくんや、側道がつくんやと言うたら、あの辺に何軒かそういう地元の人も何軒かあそこで商売というのか、だんだんはやってきとるので、何軒か計画もあるんですわ。その幹線道路沿いにですわ。

そういうようなことで、待っているというのか、待ちわびているというのか、待っているところもあるんですよ。

そういうこともありまして、できたらちょっとでも舗装を早うなすというか、そういうようなこともできたらしてほしいんやけどな。と思うんやけども、建設部長、工法的には難しいかい。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（樽井豪男君）まず、今の時点で24年度にできるかというのは、非常にお答えにくいところがありまして、まず今年度、先ほど言いました盛り土の今年度は基礎をもう発注をかけております。まず基礎を固めて、来年度はそれからテールアルメの盛り土をやっていくわけなんですけども、それも渇水期の時期ということで、どうしても22、23、特に24年度雨天桶川の橋梁とか出てきますので、その状態を見ながら、もし舗装とかでしたら何も渇水期にするとかいうことではありませんで、その時点の状態を見ながら、国並びに財政当局とも相談をしながら、もし25年度でも26年3月とは言わず、25年10月にできればとかという内容で、この23、24年の工事の

進捗状況を見ながら、できるだけ早く考えていきたいなとは思っております。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）それじゃできるだけそういうことで、計画変更もされて、私が2月にもらったやつを一部ちょっと変わっているということなので、これはこれでまた新しいのをいただいてしたらいいと思いますが、大変計画的にこの道路におきましては重要な道路でありますので、市長におかれましては、そのことを鑑みいただいて、政治的な判断で1年でも早く完成することを要望、要望じゃないですわ。完成することを願って、私の一般質問をこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（中西峰雄君）これをもって、23番 井上君の一般質問は終わりました。